



橋北小学校
学校だより

No.9
学力学習状況調査号
令和6年9月11日

令和6年度全国学力学習状況調査の結果から

4月18日に「全国学力・学習状況調査」を実施しました。この調査は、全国の6年生を対象に5年生までの学習内容の定着と、学習や生活の状況を調査するものです。今回の結果から見えてきた本校の学力の状況(強みや弱み)、改善に向けての取り組み等について下記のとおりお知らせします。一人ひとりの結果については個人票をお渡ししますので、その結果をもとに、強みをさらに伸ばすとともに、弱みの改善にむけて取り組んでいってほしいと思います。

1

学力の状況(国語・算数)



本校の正答率を全国平均と比較すると、国語は全国平均の正答率を上回り、算数は全国平均とほぼ同じ結果となりました。今回の調査結果からわかった各教科の領域別の結果、及び「強み(○)」と「弱み(▼)」は次の通りです。

国語

領域別にみると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」「書くこと」は全国平均程度、「話すこと・聞くこと」「読むこと」は全国平均を上回る結果でした。

- 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。
- 文の中における主語と述語との関係を捉えることができる。
- 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。
- ▼資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。
 - ・漢字を文の中で適切に使う。 ▼「競技」 ○「投げる」
- ▼日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付く。

正答できなかった問題をもとにみると、「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する力」に弱みがあることがわかりました。自分の考えが伝わるように表現を工夫するためには、相手や目的を一層意識し、どのような資料を用意すればよいかを考えることが重要です。また、実際に話す場面では、聞き手のうなずきや表情などにも注意しながら、聞き手の状況に応じて表現を工夫することも大切です。また、あらゆる学習活動の中で「漢字を文の中で適切に使う」ことも、引き続き大切にしていきたいです。

算数

領域別にみると「数と計算」「データの活用」は全国平均程度、「図形」は全国平均をやや上回り、「変化と関係」は全国平均をやや下回りました。

- 直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解している。
- 球の直径の長さや立方体の辺の長さの関係や、立方体の体積の求め方を式に表すことができる。
- 簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができる。
- ▼問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができる。
- ▼速さの意味について理解している。
- ▼折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できる。

今回のテストで「速さの意味」について十分に理解できていないことがわかりました。具体的な場面に对应させながら、速さなど単位量当たりの大きさについて理解できるようにすることが大切であると考えます。

また、算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えたり、日常の場面で活用できる計算(算数で学習したこと)を確認したりする授業づくりを大切にしていきたいです。

結果を受けて

- ☆自分の考えを、相手に伝える活動を積極的に取り入れていきます。
(【例】資料を活用しながら、より分かりやすく相手に伝える工夫を加えて発信する)
- ☆授業で学んだことを、実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることで、生活が便利に豊かになるといった経験をより多く実感させることが必要であると考えます。
(【例】 日常の場面で使った計算を黒板に提示する)
(【例】「学習→実生活に役立つ」ということを子どもたちに意識させる)
- ☆家庭学習でも、自分の苦手なところを意識して学習できるよう、タブレット、ドリル等を用いて苦手さに応じて漢字の学習などの反復練習をさせたり、自主学習の進め方を個別で指導したりしていきます。

2

学習や生活の状況



自分自身について

- 「将来の夢や目標をもっている」「人が困っているときは進んで助けている」「人の役に立つ人間になりたいと思っている」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と、肯定的回答した児童の割合は、全国平均を上回っています。
- ▼「自分にはよいところがあると思う」と肯定的回答した児童の割合は、全国平均を下回っています。
⇒ ☆ 昨年3学期のコミュニティスクール委員の方から「自分のよいところに気づけていない子がいるのでは？保護者・教員・地域のまわりの大人が、子どものよさを見つけ、言葉で伝えてあげることが大切。」「その子のよさは学力だけでない。普段の心づかい、やさしさもその子のよさとしてほめてあげたい。」といったご意見をいただきました。本校職員も、子どもたちがありのままの自分を受け入れ、お互いに自分自身や相手を誇りに思えるような関係づくり、環境づくりに引き続き努めていきます。

学校生活について

- 「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表しましたか」「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか」の問いに肯定的回答した児童の割合は、全国平均を上回っています。
- ▼「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思いますか」の問いに肯定的回答した児童の割合は、全国平均を下回っています。(一方、「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」の問いに肯定的回答した児童の割合は、全国平均を上回っています。)
⇒ ☆ 算数に限らず、あらゆる学習活動、学習内容が実生活と深くかかわっていて、生活の便利さや豊かにつながっているといった経験をより多く実感させることが必要であると考えます。

生活習慣について

- 基本的な生活習慣「朝食を毎日食べていますか」「新聞を読んでいますか」の問いに「している・どちらかといえばしている」と肯定的回答した児童の割合は全国平均を上回っています。
- 「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」の問いに「している・どちらかといえばしている」と肯定的回答した児童の割合は全国平均を上回っています。
- ▼「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日同じくらいの時刻に起きていますか」の問いに、肯定的回答した児童の割合は全国平均を下回っています。

家庭での学習や読書の習慣について

- 「学校の授業以外に、1日当たりどれくらいの時間勉強しますか」について、「1時間以上」と回答した児童の割合は、普段(月～金)は全体の67%、また土日や学校が休みの日には56%となっており、それぞれ全国平均を上回っています。

今回の結果もいかし、これからも学校と家庭と地域が連携し、子どもたちの育ちを支えていきたいと思っております。引き続き、ご支援・ご協力くださいますようお願いいたします。